

中小企業あきた

- 1 コーディネート秋田協同組合理事長を訪問…………… 1
～組合運営についてお聞きしました～
- 2 2019年度の秋田県補助金をご紹介します(抜粋)…………… 2



- 景況レポート3月分…………… 4
- 組合相談コーナー…………… 6

- 話題の広場
中央会事業より…………… 8
- 支援団体活動レポート…………… 9
- インフォメーション…………… 10



TOPICS 1 コーディネート秋田協同組合理事長を訪問 ～組合運営についてお聞きしました～



〔コーディネート秋田協同組合(秋田ファイブワン工業株式会社)〕

外国人技能実習生を受入れすることで国際貢献を果たしている、コーディネート秋田協同組合佐賀善美理事長に組合運営で心がけている点について、お話を伺いました。

コーディネート秋田協同組合は、繊維製品製造業者6社によって平成12年5月に設立しました。労働集約型産業の典型である縫製業ですが、当時、県内に事業所は約600社、従業員数は約1万5千人という状況にあり、失業率が高いにもかかわらず人材確保が容易ではなく、従業員の平均年齢も確実に上昇していました。

そこで、平成2年に導入された団体監理型による外国人研修生・実習生制度を活用しようと事業協同組合を設立するに至り、組合は今年で19年目を迎えます。この間、法改正により数度の受入体制の変更がありましたが、現在は

外国人技能実習機構の許可を受け、優良な監理団体(一般監理事業)として運営を行っています。

技能実習生受入れにあたっては、各組合員間で技能実習生の待遇が不平等にならないように毎月理事会を開催して情報を共有し、結束を図っています。企業の心構えとして、受入れ態勢・環境の整備、送り出し国の風土・習慣を踏まえ、コミュニケーションを図りながら技能実習生の人格を尊重しなければなりません。今後も技能実習生を大切にしていきたいと思っています。「心のきずな」を深めながら、組合の円滑な運営に努めています。



〔佐賀理事長〕